

昭和31年2月20日第三種郵便物認可 令和5年8月17・24日発行(木曜日発行)(8月10日発売)第68巻第31号

週刊新潮

8月17・24日夏季特大号

特別
定価 480円

読者アンケート
実施中!



週刊新潮

特大号

読者アンケート
実施中!



昭和31年2月20日第三種郵便物認可 令和5年8月17・24日発行(木曜日発行)(8月10日発売)第68巻第31号





はなみずき眼科 HANAMIZUKI EYE CLINIC

愛媛

先進の治療技術で患者の「見える」を守る

愛媛県松山市にあるはなみずき眼科は、2013年の開院以来、白内障、緑内障から網膜硝子体疾患、眼瞼下垂に対する手術、屈折矯正手術などの外科的治療や、若年層の近視・乱視の矯正、予防から一般眼科まで、幅広い眼科疾患の治療に当たる。

院長を務める鄭曉東医師は、中国医科大学医学部を卒業後渡米、アメリカ留学で最先端の医療を学び、2003年に日本の医師免許を取得した。

「まぶたから眼球全体まで、トータルで対応できるクリニック」を掲げる同院では、白内障、眼形成、屈折矯正、特に眼瞼下垂、眼瞼内反症といった、加齢を主要原因とする症例を専門としている。これらの症状は同時期に発症することも多く、まさに「まぶたから眼球全体」の視点で治療プランを設計する必要がある。手術の技術だけでなく、豊富な臨

床経験に基づいた包括的な治療が地域の「目で困っている人」を救ってきた。

患者の選択肢を広げる白内障手術専門の最新レーザー装置カタリスシステムを導入し、全ての多焦点眼内レンズ手術に適応。的確な診断が欠かせない検査機器についても、大学、基幹病院レベルの先進機器に日々アップデートしており、「安心、安全な治療」に加え、術後のQOLにも配慮した治療を心がける。

「患者さんにとってこの手術は一生に一度のもの。特に眼科疾患は、患者さんの生活、人生に大きく関わるものなので、妥協は許されません」

卓抜の技術で難症例にも積極的に取り組む鄭院長が患者と接する際に常に念頭に置いているのは、「自分が年を重ねた時に受けたい治療かどうか」の一点。はなみずき眼科は「見える」を追求することで、患者一人ひとりの人生に寄り添っている。



理事長・院長

鄭 曉東(てい・しゃおどん)

1991年、中国医科大学医学部卒業。
1997年、アメリカルイジアナ州立大学
LSU Eye Center Postdoc. 2006年、
松山赤十字病院眼科診療副部長。
2012年、愛媛大学医学部眼科准教授。
2013年、はなみずき眼科を開院。日
本眼科学会認定眼科専門医。



〒790-0943 愛媛県松山市古川南 3-16-28 Tel.089-958-8822 <https://hanamizuki-eye-clinic.jp/>



診療時間…月～土曜 9:00～12:00 / 月曜・水曜・金曜：15:00～18:00

※土曜日の受付は 13:00 まで

手術日…月～木曜：13:00～15:00 / 火曜・木曜：15:00～18:00 休診日…土曜午後・日曜・祝日

※保険適用外自由診療 多焦点眼内レンズ 白内障手術 / 25 万円～

選定療養の対象となっています。手術費用の一部が保険適用となりました。詳しくはお問い合わせください。